

## ススキ (薄)

名前の意味<sup>いみ</sup>：すくすく育つ木という意味か？よくわからない。

分類：単子葉類、イネ科、ススキ属

(イネ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい空き地、草原

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴：白い筋のある縁がざらざらする長い葉、ほうきのような薄茶色<sup>うすちゃいろ</sup>  
の穂<sup>ほ</sup>、たくさんの毛のある実。

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数<sup>りべん</sup>：離弁、2裂<sup>れつ</sup> (小さくてよくわからない)

花の時期：9 - 11月

食べ方：食べられない

見分け方：オギは、湿地<sup>しっち</sup>に生えて、葉は根元にはあまりない。ススキの穂<sup>ほ</sup>が穂<sup>ほ</sup>い茶色であるのに対してオギの穂<sup>ほ</sup>は白い。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★

総合難易度<sup>そうごうなんいど</sup> ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)